



学校だより



青梅市立東小中学校
令和8年度 第5号
令和8年8月31日

「困難は…道を切り拓いていく原動力」

校長

8月19日(水) 2学期がスタートしました。一年間の中で一番長い学期でもあり、その中で自分を一番成長させることができる期間になります。児童生徒一人一人が成長する姿を期待しています。頑張っていきましょう。

さて、夏休み中、国内では2つの自然災害が発生しました。

(1) 7月28日、熊本県熊本地方を震源とする地震が発生

(2) 8月13日から14日にかけて、線状降水帯の発生などにより千葉県で記録的な大雨

災害により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、ご遺族の皆様にも心よりお慰め申し上げます。また、被害にあわれた皆様にも心よりお見舞い申し上げますとともに、被災された地域の日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。

8月5日から全国高等学校野球選手権大会(甲子園)が開催されました。その開会式において、西東京代表の八王子実践高校の矢澤陵磨主将は以下のような選手宣誓を行い、多くの聴衆に感動を与えました。その全文を紹介します。

宣誓。

私たちは全ての方々に感謝を抱き、戦っていきます。人生には幾多の「困難」が待ち受けています。人々は明日へ踏み出そうと歩みを進めるたびに、自然は何度も何度も、大きな試練を与えてきます。しかし、**「困難は下を向く要因ではなく、前を向き、仲間とともに支えあい、道を切り拓いていく大きな原動力である。」**私たちはそう信じています。今、野球ができることは決して当たり前ではありません。だからこそ、高校球児は**「いい顔をして野球をしよう。」** いい顔の概念は状況によって変わります。

- ・戦いに身を投じている時の緊張した顔。
- ・勝負に敗れ、涙をぐっとこらえる顔。
- ・感謝の気持ちに溢れた満面の笑顔。

いい顔で日々を過ごすことは、周りの方々に元気や希望を与えます。移りゆくこの時代に、選手が、高校球児が大きな戦いを頑張るためには、27個の最後のアウトを全員が頑張っつつかみとることだと思います。この聖地・甲子園で、野球ができることへの感謝を胸に、多くの人々に感動や勇気を届けられるよう、全力疾走で駆け抜け、プレーすることを誓います

令和8年8月5日 選手代表 八王子実践高等学校野球部主将 矢澤 陵磨

1学期の学校生活振り返りアンケートから

1学期末に、児童・生徒の皆さんに「1学期の学校生活振り返りアンケート」を実施しました。今回のアンケートの質問項目は、全部で15項目ありました。朝、各寮から学校に登校して授業を受けて、帰寮するまでの学校生活に関する内容です。服装・上履きの着用や玄関・点呼場での挨拶は、全体で80～90%以上が達成できており、日常的な指導の成果がしっかりと表れています。一方で、点呼・移動時のおしゃべりや緊張感、始業前の読書や授業中の姿勢にはまだまだ改善できるようです。挨拶やマナーという良い土台ができているからこそ、2学期は「時と場に応じた態度」と「学習に向かう姿勢」の引き締めを重点的に進めていきたいと思います。自分の姿勢を振り返り、不十分だったと思う人はもう一度意識して、より良い学校生活を送りましょう。2学期も皆さんのさらなる成長を期待しています。